

2023年8月10日 プレスカンファレンス スピーチ

三菱自動車工業株式会社
代表執行役社長 兼 最高経営責任者
加藤 隆雄

三菱自動車のブースへお越しいただき、ありがとうございます。
本日は数々の輝かしい新型車が生まれてきた、ここインドネシア国際オートショーで、三菱自動車の新型コンパクト SUV を発表させていただけること、たいへん嬉しく思います。

インドネシアでは6年前、多くの関係者の皆様からの多大なる支援によってブカシ工場を立ち上げることができました。現在では、年間22万台の生産能力を誇り、世界40カ国以上に輸出する重要なハブとなっています。この場をお借りして、日頃のご支援に改めて心より御礼を申し上げますとともに、引き続き当社はインドネシアの地域経済の発展にも貢献してまいります。

そしてこのブカシ工場で2017年から作り始めた『エクспанダー』と『エクспанダークロス』がインドネシアでの主力モデルとなっています。このシリーズはこれまでに世界40カ国以上で累計60万台をお客様にお届けしており、MPVならではの快適性とSUVらしい走破性を融合させたクロスオーバーMPVとして、ファミリー層を中心に世界各地でご愛用いただいています。本日はご紹介する新型車は、その『エクспанダー』シリーズに続くインドネシア発の新型車であり、待望のクロスオーバータイプのコンパクト SUV です。

今回の新型車では、私たちがこれまで積み上げてきたSUVノウハウに加えて、アセアン地域のニーズを徹底的に調査することで、コンパクトSUVを活用するお客様に新しい価値を提供していきます。まずはインドネシアに投入し、ベトナム、フィリピンなど他のアセアン地域や、南アジア、中南米、中東、アフリカなどにも順次展開していく計画です。

今回、開発にあたってコンセプトに掲げたのは、「Best-suited buddy for an exciting life」です。コンパクトSUVに求められる走りの良さや運転のしやすさ、快適な居住空間や多彩な使い勝手などの要件を満たしたうえで、ドライバーが毎日の運転でもワクワクして胸が高鳴るクルマにしたい、今までよりも一歩先まで踏み出したい、何か新しいことに挑戦してみたいといった、ドライバーの様々な冒険をサポートする頼もしい相棒のような存在でありたいという想いを込めて開発しました。

皆様には是非、新型『エクスフォース』をご試乗いただき、運転で胸が高鳴るエクストラフォースを体感していただきたいと思います。そして、この新型『エクスフォース』を通じて、皆様のカーライフを、より豊かにするためにお役に立てれば幸いです。

そして今回のモーターショーでの三菱自動車ブースは、新型『エクスフォース』だけではなく、左手には三菱自動車得意とする電動化技術を注ぎ込んだ電気自動車を展示しております。ここインドネシアで実証実験を実施し、今年度中にブカシ工場にて現地生産を予定している軽商用EV『ミニキャブ・ミーブ』に加え、日本の軽自動車規格の電気自動車『eKクロスEV』を海外で初めて展示いたします。近く市場の受容性調査を実施し、インドネシアにおけるEVの普及に向けて、市場投入や現地生産も見据えながら、今後の調査を通じてお客様のご意見を伺っていく予定です。

三菱自動車工業株式会社
代表執行役副社長（開発・商品戦略・TCS・デザイン担当）
長岡 宏

私たちは、三菱自動車のファンの方に我々の車を選んでいただくために、常に三菱自動車らしさとは何かを自問自答してきました。私たちが考える三菱自動車らしさとは、『環境×安全・安心・快適』を実現する技術に裏付けられた信頼感により、冒険心を呼び覚ます心豊かなモビリティライフをお客様に提供すること』です。つまり、それは、ワクワクするような冒険に誘うクルマ、そして、どんな冒険からでも必ず家族と共に無事に帰ってこられるクルマ、しかも、環境にしっかり配慮しているクルマ。それが三菱自動車らしいクルマだと考えています。

この新型『エクスポース』を三菱自動車らしいコンパクトSUVとするために、三菱自動車らしさをどのように具現化させていくか、徹底的に議論し、開発を進めてきました。

環境については、最新の排出ガス規制に対応し、CO2税制にも適合させつつも、SUVとしての使いやすさを実現するために、『エクスパンダー』で好評のエンジンを改良し、低速からフラットにトルクを発生させています。

安全、安心については、どんな天候や路面でも意のままに安心して運転できるコンパクトSUVを目指しました。クラストップレベルの最低地上高や十分なアプローチアングルとデパーチャーアングルを確保し、当社がこれまで培ってきた独自の四輪制御技術に磨きをかけたドライブモードを採用することで、荒れた路面やスコールによる冠水路でも安心して運転することを可能にしました。ドライブモードは、ノーマル、グラベル、マッド、そしてウェットの4つですが、今回初採用のウェットモードでは、四輪の動きを的確に制御することによって、降雨による濡れた路面では安心感のある操縦安定性を実現し、スコールによる冠水路となった場合でも、ハンドルを取られにくく、不安なく走行することが可能です。

快適については、お客様に心地よい居住空間を提供する機能のひとつとして、ヤマハ株式会社と共同でオーディオシステム「ダイナミックサウンドヤマハプレミアム」を新たに開発しました。このオーディオシステムは、三菱自動車のワクワク感を提供する快適性を探求し続けるクルマづくりと、ヤマハの聴く人の心を震わせる音づくりという、両社のものづくりにかける情熱と技術が協業することによって作り上げられました。

最適に設置した8個のスピーカーの内、高音域を担当するツイーターは、シルク素材の振動板と特別なアルミ・銅合金線の駆動コイルを採用し、高速可動そして高レスポンスを実現しており、つややかな高音の伸びにつながっております。一方で、中低音域を担当するスピーカーについては、容量2.5倍の大型マグネットを採用し、スピーカーを支える車体も標準車より5倍以上に剛性を上げることで、くっきりパワーのある低音を実現しています。加えて、車が走行時に発する音を考慮して最適に音量と音質を補正する機能や、気分に合わせて選べる4つのサウンドタイプにより、アーティストの息遣いまでも感じられるリアルな音響再現性と、プレミアムクラスを超える音質を実現しました。

他にも、クラストップレベルの後席の居住空間や、冷却機能付きのコンソールボックス、ドライ機能を備えた左右独立温度コントロール式フルオートエアコン、12.3インチのスマートフォン連携ディスプレイオーディオと8インチのデジタルドライバーディスプレイを一体化させた大型のモノリス形状のパネル、そしてハンズフリー機能付エレクトリックテールゲートなど、この場でご紹介しきれないほど多くの、お客様の生活に寄り添う機能を細部にいたるまで盛り込みました。

新型『エクスポース』は、インドネシア、そしてアセアンの皆さまのために、心血を注いで開発した三菱自動車らしさが溢れるコンパクトSUVです。また、車名の通り、ご家族やご友人と一緒に過ごす毎日をよりワクワクさせる特別な力、ドライバーの冒険心を駆りたてる特別な力をもつ頼もしいコンパクトSUVです。この新型『エクスポース』が、みなさまの良き相棒になれることを心から願っています。